

# \*心臓を保護する治療薬\*

利尿薬や強心薬、抗不整脈薬は症状を良くする薬で効果も実感しやすいです。「心臓を保護する薬」は効果がすぐには目に見えないですが、予後を改善するために服用し続ける事がとても大切な薬です。

## 【心臓を保護する薬その①：ACE 阻害薬、ARB】

ACE 阻害薬、ARB は血圧を下げる薬として良く使用されていますが、血圧を下げるだけでなく、心臓を保護する役割も担っています。この薬は高血圧を引き起こすホルモンの過剰な活動を抑え、血管を拡張させる働きがあります。その作用により、心臓にかかる負担を軽くします。

## 【心臓を保護する薬その②：β遮断薬】

β遮断薬とは、交感神経の働きを抑え、心臓の収縮や心拍数を減少させてくれる薬です。弱っているにもかかわらず、がんばって働きすぎている心臓を少し休ませることで、心臓の負担を軽くするはたらきがあります。飲み続けることで、心不全の症状を改善します。

※飲み始め、増量時に「めまい・動悸・倦怠感」が出やすいので注意が必要です。

### 【ACE 阻害薬、ARB(一部)】

ペリンドプリル



エナラプリル



ミカルディス



カンデサルタン



### 【β遮断薬(一部)】

メインテート



カルベジロール



### 【その他(一部)】

スピロラクトン

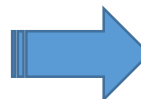


※副作用：めまい、動悸、倦怠感(開始時・増量時に起こりやすい)、空咳

これらの薬には、

**リモデリングの抑制**

という効果があります。



リモデリングとは...

心臓が痛められる

↓  
体が痛んだ心臓を治そうとする

↓  
正しく修復されない

⇒心不全を進める原因に！



下手な修理を  
すると...

# 心臓の負担軽減・再発予防に重要な役割！！

ふらつきがあったり、血圧が低い時も、自己判断で

中止せず、医師・薬剤師に相談してください！